

3月2日(日)は旭市津波避難訓練

災害時の行動力を身に付けよう

東日本大震災から、間もなく14年を迎えます。
過去の教訓を生かして、大津波の襲来を想定した訓練を実施します。
災害が発生したときは、自分の身の安全を確保すること(自助)と、
近所の人たちで助け合うこと(共助)が大切です。
家族や近所の人たちと一緒に訓練に参加しましょう。

日時

3月2日(日) 午前9時～10時
40分

※荒天中止。中止の場合は、午前7時ごろに防災行政無線と市ホームページで周知します。

避難場所

●飯岡地区

飯岡小、飯岡中、双葉団地A、下永井団地、いいおか潮騒ホテル、いいおか保育所、飯岡避難タワー、上永井公園

●三川地区

三川小、三川避難タワー

●矢指地区

矢指小、日の出山公園、矢指避難タワー、旭中央病院附属看護専門学校

●富浦地区

富浦小、一中、富浦避難タワー ※亀の井ホテル九十九里(旧かんぼの宿旭)は、改修工事のため、今回は対象外です。

●そのほか

中央小、豊畑小、二中、海上公民館

対象地区

別表のとおりですが、地区外の人も参加できます。

主な訓練内容

地震発生から津波到達までを30分と想定して行います。

●シエイクアウト訓練

防災行政無線の緊急地震速報を聞いたら、直ちに姿勢を低くして頭を守り、揺れが収まるま

で2分程度じっとして待ち、身を守る行動をとりましょう。

●津波避難訓練

防災行政無線の大津波警報を聞いたら、30分以内に近くの避難場所に避難しましょう。

●救命救急訓練

飯岡小・飯岡中・三川小・矢指小・富浦小で、AEDの使い方や応急処置方法の講習を行います。

●食料・物資供給訓練

備蓄食料や携帯トイレを配布します。 ※数に限りがあります。

日ごろから災害に備えよう

避難する際にすぐ持ち出せる



【別表】津波避難訓練対象地区

小学校区	区 名
飯岡地区	永井岡、東町、西上町、西下町、横根東浜、本町、川端町、小網町、広網町、大崎町、八軒町、並木町、飯岡岡、行内、平松岡、平松浜、横根岡、横根西浜、萩園、双葉町
三川地区	曾根、目那、犬林、上宿、後、下宿、浜、県営飯岡団地
矢指地区	十日市場浜、椎名内岡、椎名内東町、椎名内仲町、椎名内西町、東足洗、西足洗岡、西足洗浜、野中、足川岡、足川浜
富浦地区	仁玉岡、仁玉浜、中谷里岡、中谷里浜、川向、神宮寺岡、神宮寺浜、井戸野浜、駒込浜
豊畑地区	井戸野上通り、井戸野中通り、井戸野下通り、泉川、駒込岡、大塚原
中央地区	十日市場岡

※10mの津波が襲来した場合に予想される、市内の浸水範囲に含まれる地区とその周辺を想定しています。

大規模災害の発生時には、消防などの公的機関による救助が困難になるため、自主防災組織などによる自助・共助がとても

自主防災組織をつくり
参加しよう

非常持ち出し品(懐中電灯、携帯ラジオなど)や、支援体制が整うまでの最低3日分、できれば1週間分の非常備蓄品(食料、飲料水、薬など)を準備しましょう。食料などは、保存性の高い物を多めに買い、古い物から消費して、使った分だけ買い足すローリングストック(循環備蓄)を心がけましょう。

重要です。
自主防災組織とは

「自分たちのまちは自分たちで守る」という自衛意識を持ち、地域住民が自主的に防災活動を行う組織で、主に区や自治会などの規模で結成します。

市からの補助金

自主防災組織を結成すると、主催する研修会や防災訓練、防災用資機材などの購入、防災リーダーなどの人材育成の活動に補助金が交付されます。

問い合わせ先

総務課地域安全班

☎ 62・5311

地震・津波の情報を知ろう

気象庁では、津波による災害の発生が予想される場合に「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」を発表します。ほかにも、強い地震や津波が発生する可能性が高まっている場合に「北海道・三陸沖後発地震注意情報」「南海トラフ地震臨時情報」を発表します。

情報の種類に応じて、どのような行動をとるべきか、別表で確認しておきましょう。

情報を入手しよう

災害情報は、テレビやラジオ、防災行政無線、防災メール、市公式LINE、市ホームページなどで入手できます。いざというときに備えて、防災メールや市公式LINEの登録をしておきましょう。



防災メール



市公式LINE



津波ハザードマップ

いつでも避難できる態勢を

巨大地震が起きた場合、旭市は高さ3m以上の津波に襲われると想定されており「北海道・三陸沖後発地震注意情報」や「南海トラフ地震臨時情報」の発表で、備えを強化すべき市町村として、対象地域に指定されています。

上記の情報が発表された際は、想定される地震や津波からいつでも避難でき、1週間程度の生活ができるように備えましょう。

- 枕元に靴を置くなど、すぐに逃げ出せる態勢で就寝する
- 非常持ち出し品や非常備蓄品を、常時携帯する
- インターネットやラジオなどで、緊急情報を取得できるようにする

- ブロック塀に近づかないなど、想定されるリスクから身の安全を確保する
- 備蓄食料の賞味期限の確認や、家具転倒防止板の設置など、日ごろからの備えを再確認する
- 津波ハザードマップなどで、避難場所や避難経路を確認する

【別表】気象庁から発表される情報ととるべき行動

種 類	発表される津波の高さ	とるべき行動
大津波警報	10m超 10m 5m	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに津波避難場所などの安全な場所へ避難する。到達予想時間まで余裕がある場合は、できるだけ内陸へ避難する。警報が解除されるまでは、安全な場所から離れない。
津波警報	3m	
津波注意報	1m	海岸堤防よりも海側にいる人は、直ちに海岸から離れる。
北海道・三陸沖後発地震注意情報	市内の最大予測約6m*	強い地震や津波が発生する可能性が高まっているので、いつでも避難できるように準備する。
南海トラフ地震臨時情報		
調査中		今後の情報に注意し、地震の発生に備える。
巨大地震警戒	市内の最大予測約5m*	強い地震や津波が発生する可能性が高まっているので、いつでも避難できるように準備する。
巨大地震注意		
調査終了		地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。

※予測を超えた津波が発生する可能性もあります。